

令和7(2025)年度  
かわさき市民アンケート  
報 告 書

川 崎 市



# 目次

I	調査概要	1
II	調査回答者の属性	7
1	第1回アンケートの回答者	9
2	第2回アンケートの回答者	13
III	調査結果	19
1	第1回アンケートの調査結果（インターネット調査）	21
1.1	川崎市の緑について	23
(1)	川崎市の緑に対する満足度	23
(2)	保全した方がいいと思う緑	25
(3)	緑に関する取組について	27
(4)	緑に関する活動について	31
(5)	緑化や自然保全に関するボランティア活動について	35
(6)	緑に関する情報発信について	39
(7)	日常行動圏の街路樹について	43
(8)	日常行動圏の街路樹に対する満足度	44
(9)	街路樹の量や維持管理頻度について	45
1.2	川崎市の観光振興について	47
(1)	川崎市の施設・イベント	47
(2)	おススメしたい川崎の魅力	51
(3)	観光客の増加についての考え	55
(4)	今後の旅行（国内・海外）に対する意向	57
(5)	川崎の観光が盛り上がることで期待すること	59
(6)	催し物（会議やイベントなど）を行うための施設について	61
(7)	「かわさき名産品」認知・購入状況	63
(8)	「かわさき名産品」認知経路	65
1.3	特別市（特別自治市）について	67
(1)	「特別市（特別自治市）」の認知状況	67
(2)	「特別市（特別自治市）」の認知経路	69
(3)	「特別市（特別自治市）」について知りたいこと	71
(4)	「政令指定都市」について	73
(5)	取組や事務の一本化について	80

<b>2 第2回アンケートの調査結果（郵送調査）</b> .....	83
2.1 定住状況について .....	85
(1) 居住年数 .....	85
(2) 定住意向 .....	88
(3) 転居意向の理由 .....	90
(4) 転居先の希望 .....	91
2.2 生活環境の評価について .....	93
(1) 生活環境の満足度 .....	93
(2) 総合的な生活環境の満足度 .....	103
2.3 関心ごとと行動範囲について .....	106
(1) 関心を持っていること .....	106
(2) 行動範囲 .....	109
2.4 市政に対する評価と要望について .....	114
(1) 市政の仕事でよくやっていると思うこと .....	114
(2) 市政の仕事で今後特に力を入れてほしいこと .....	116
(3) 施策や事業の総合的な満足度 .....	118
2.5 川崎市の広報（市政だより）について .....	121
(1) 川崎市の情報の入手方法 .....	121
(2) 市政だよりの閲読状況 .....	125
(3) 「市政だより 11月号」の入手状況 .....	128
(4) 「市政だより 11月号」の閲読状況 .....	130
(5) 「市政だより」の閲読媒体 .....	132
(6) 「市政だより」を「紙」のみで読んでいる理由 .....	134
(7) 読みやすい「市政だより」の形状 .....	136
(8) 「市政だより」についての考え .....	138
2.6 これからのお葬式のあり方や火葬後の灰等の取り扱いについて.....	149
(1) 市営葬祭場の利用状況 .....	149
(2) 友引の日に火葬を行うことについて .....	152
(3) 希望するお葬式の形態 .....	158
(4) 残骨灰について .....	160

(5) 残骨灰による収益を葬祭場等の運営に役立てることの賛否 .....	168
(6) 残骨灰による収益を葬祭場等の運営に役立てることの賛否の理由 .....	170

<b>IV 調査票</b> .....	175
---------------------	-----



# I 調查概要



## 1 調査目的

「かわさき市民アンケート」は、昭和 50(1975)年度から毎年 1 回 1,500 人を対象として行っていた「市民意識実態調査」を、より多くのテーマ、より多くの対象に調査するため、調査回数を年 2 回、各回 3,000 人の市民を対象にした調査に拡充し、名称を変更して平成 18(2006)年度から実施することとしたものである。

昭和 50(1975)年度から継続的に行ってきた市民の定住状況、生活環境の評価、市政に対する評価と要望等に加えて、市民に関するいくつかのテーマについて、市民の生活意識や行政に対する意識を調査し、市政運営や政策立案の参考資料とすることを目的として実施した。

## 2 調査方法

- |            |   |
|------------|---|
| (1) 調査の地域  | 川崎市全域   |
| (2) 調査の対象者 | 川崎市在住の満 18 歳以上の個人   |
| (3) 調査方法   | 第 1 回 インターネット調査<br>第 2 回 郵送調査(郵送配布一郵送回収・はがき督促を 1 回)                                     |
| (4) 調査期間   | 第 1 回 令和 7(2025)年 8 月 22 日(金)～9 月 5 日(金)<br>第 2 回 令和 7(2025)年 11 月 11 日(火)～12 月 19 日(金) |
| (5) 調査委託機関 | 株式会社総合企画  |

## 3 サンプルングの方法と回収状況

	第 1 回	第 2 回
(1) 標本の抽出	<ul style="list-style-type: none"><li>インターネット調査会社のモニター登録者に対し、事前登録情報に基づいて川崎市在住のモニターにメールにてアンケートを依頼。</li><li>回収数は、令和 7(2025)年 6 月末時点における、居住区別・性別・年代別の割合に基づいて設定し、不足の年代が出た場合は、同じ居住区と同じ性の他の年代(なるべく近い世代)から割り付けた。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>住民基本台帳からの層化無作為抽出。(令和 7(2025)年 9 月抽出)</li><li>1. 市内を 7 行政区に分類し、さらに各区を人口規模によって層化する。</li><li>2. 各区・人口規模別の層における 18 歳以上の人口(令和 7 年 6 月末現在)により 3,000 標本を比例配分する。</li><li>3. 比例配分した標本数を、各行政区の標本数とする。</li><li>4. 住民基本台帳から、行政区毎に必要な標本数を無作為抽出する。</li></ul>
(2) 標本数	1,500 標本回収まで実施	3,000 標本
(3) 有効回収数	1,500	1,592
(4) 有効回収率		53.1%

## 4 調査項目

◎第1回（インターネット調査）

<調査テーマ>	<問番号>
(1) 川崎市の緑について	(Q1～Q9)
(2) 川崎市の観光振興について	(Q10～Q16)
(3) 特別市（特別自治市）について	(Q17～Q21)

◎第2回（郵送調査）

<調査テーマ>	<問番号>
(1) 定住状況について	(問1～問4)
(2) 生活環境の評価について	(問5～問6)
(3) 関心ごとと行動範囲について	(問7～問8)
(4) 市政に対する評価と要望について	(問9～問11)
(5) 川崎市の広報（市政だより）について	(問12～問17)
(6) これからのお葬式のあり方や火葬後の灰等の取り扱いについて	(問18～問22)

## 5 標本誤差 ※標本誤差は、無作為抽出を実施した第2回調査にのみ適用される。

本調査の第2回調査のように全体（母集団）の中から一部を抽出して調査を行った場合、全体を対象とした調査と比べ調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことを標本誤差という。

標本誤差は次式で得られ、①標本数(n)、②調査結果の比率(p)によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

$\left[ \begin{array}{l} N = \text{母集団の数 (川崎市の18歳以上人口)} \\ n = \text{標本数} \\ p = \text{調査結果の比率 (\%)} \end{array} \right.$

### ■ 標本数別の標本誤差早見表（信頼度：95%）

調査結果の比率(p) 標本数(n)	10%または 90%の場合	20%または 80%の場合	30%または 70%の場合	40%または 60%の場合	50%の場合
5,000	±0.83%	±1.11%	±1.27%	±1.36%	±1.39%
3,000	±1.07%	±1.43%	±1.64%	±1.75%	±1.79%
2,000	±1.31%	±1.75%	±2.01%	±2.15%	±2.19%
1,000	±1.86%	±2.48%	±2.84%	±3.04%	±3.10%

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  として算出している。

注／この表の見方

例えば、標本数が3,000で、標本調査結果の比率が60%であった場合、「標本誤差は±1.75%であり、母集団（18歳以上の川崎市民）の実際の比率は58.25%～61.75%である」と見ることができ、その精度は100回調査したとして95回は当たる（信頼度95%）という確率である。

なお、上記のほか、回答者の誤回答や無回答などによる計算不能な非標本誤差もある。

## 6 報告書の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、図表中の数値の合計が100.0%にならない場合や、複数の項目の数値の合計が本文中の数値と一致しない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数(n)は、設問に対する回答者数である。
- (3) 回答の比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- (5) 回答者数が30未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- (6) インターネット調査は、対象者を母集団から無作為抽出しているものではないため、母集団推定ができない調査方法であり、回答傾向から課題を発見するプリテストに適した調査方法である。



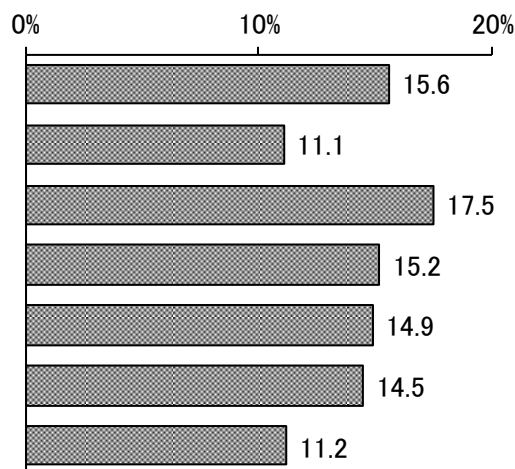
## II 調査回答者の属性



# 1 第1回アンケートの回答者

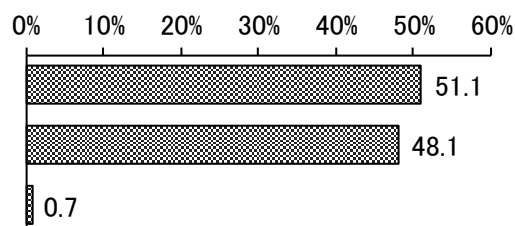
## 1.1 居住区

	基数(人)	構成比(%)
1 川崎区	234	15.6
2 幸区	167	11.1
3 中原区	262	17.5
4 高津区	228	15.2
5 宮前区	223	14.9
6 多摩区	218	14.5
7 麻生区	168	11.2
全 体	1,500	100.0



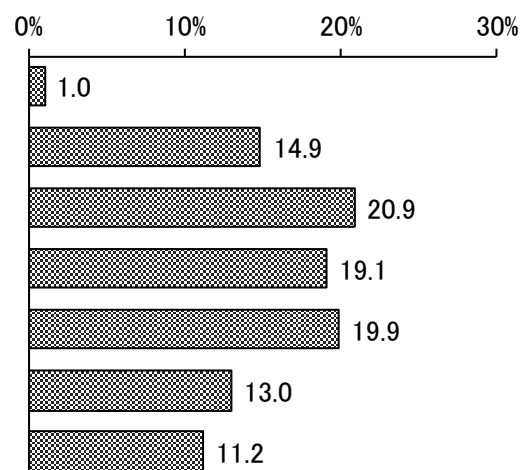
## 1.2 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	767	51.1
2 女性	722	48.1
3 選べない・答えたくない	11	0.7
全 体	1,500	100.0



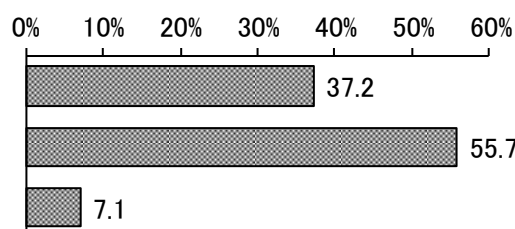
## 1.3 年齢

	基数(人)	構成比(%)
1 18～19 歳	15	1.0
2 20～29 歳	223	14.9
3 30～39 歳	314	20.9
4 40～49 歳	286	19.1
5 50～59 歳	299	19.9
6 60～69 歳	195	13.0
7 70～79 歳	168	11.2
全 体	1,500	100.0



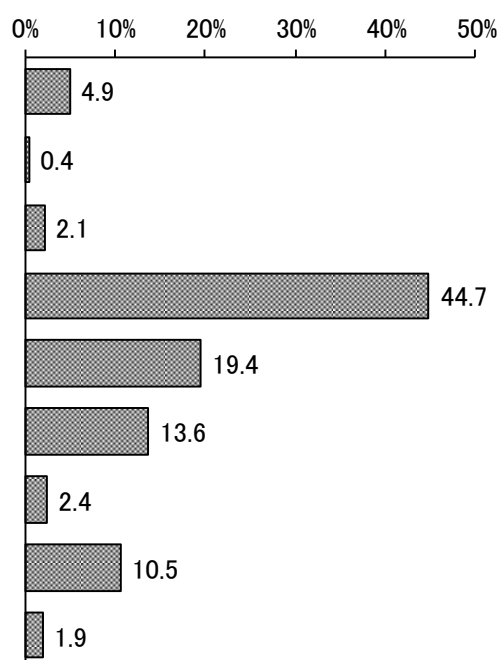
## 1.4 婚姻

	基数(人)	構成比(%)
1 結婚したことがない	558	37.2
2 結婚している	835	55.7
3 結婚したことはあるが、今は独身	107	7.1
全 体	1,500	100.0



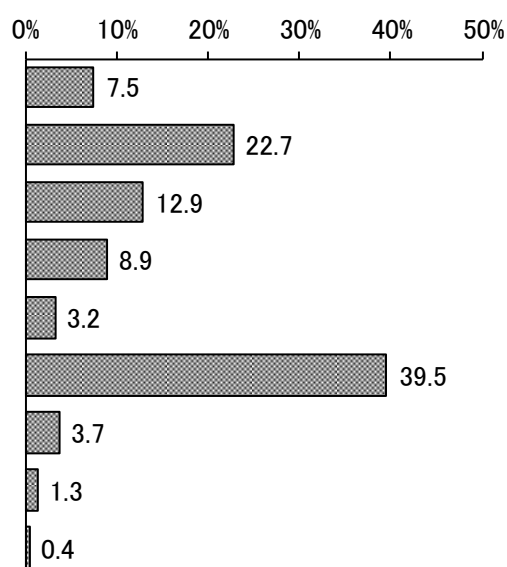
## 1.5 職業

	基数(人)	構成比(%)
1 自営業主	74	4.9
2 自営業の手伝い(家族従業者)	6	0.4
3 会社などの経営者・役員	32	2.1
4 正社員・正職員	671	44.7
5 パート・アルバイト・嘱託職員・派遣社員(正社員・正職員以外)	291	19.4
6 主婦・主夫(家事専業)	204	13.6
7 学生	36	2.4
8 無職(収入が年金のみの方を含む)	158	10.5
9 その他	28	1.9
全 体	1,500	100.0



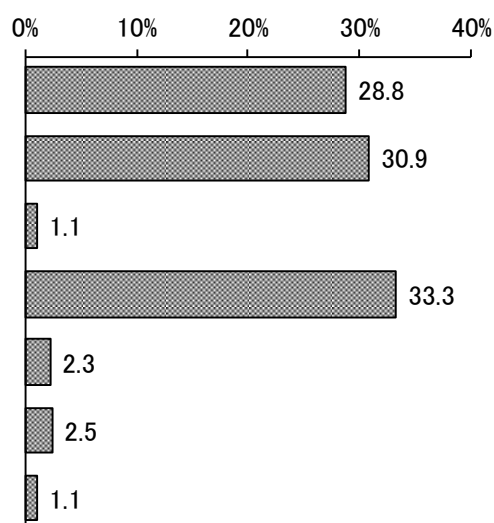
## 1.6 通勤・通学先の地域

	基数(人)	構成比(%)
1 自宅	85	7.5
2 川崎市(お住まいと同じ区で自宅以外)	258	22.7
3 川崎市(お住まいと別の区)	147	12.9
4 横浜市	101	8.9
5 川崎市・横浜市以外の神奈川県	36	3.2
6 東京 23 区	449	39.5
7 東京都(23 区以外)	42	3.7
8 神奈川県・東京都以外の道府県	15	1.3
9 通勤・通学していない	5	0.4
全 体	1,138	100.0



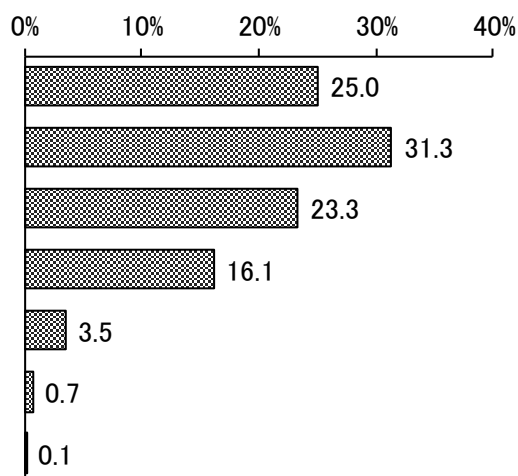
## 1.7 住居形態

	基数(人)	構成比(%)
1 持ち家(一戸建)	432	28.8
2 持ち家(マンションなどの集合住宅)	464	30.9
3 賃貸住宅(一戸建)	16	1.1
4 賃貸住宅(マンション・アパートなどの一般的な民間の集合住宅)	500	33.3
5 市営住宅や県営住宅などの公営住宅	34	2.3
6 社宅・寮・公務員住宅	37	2.5
7 その他	17	1.1
全 体	1,500	100.0



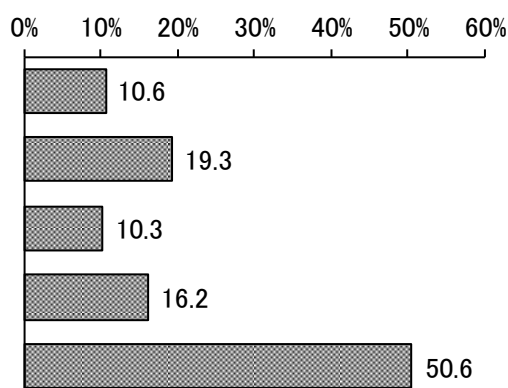
## 1.8 同居人数

	基数(人)	構成比(%)
1 1人	375	25.0
2 2人	469	31.3
3 3人	350	23.3
4 4人	241	16.1
5 5人	53	3.5
6 6人	10	0.7
7 7人以上	2	0.1
全 体	1,500	100.0

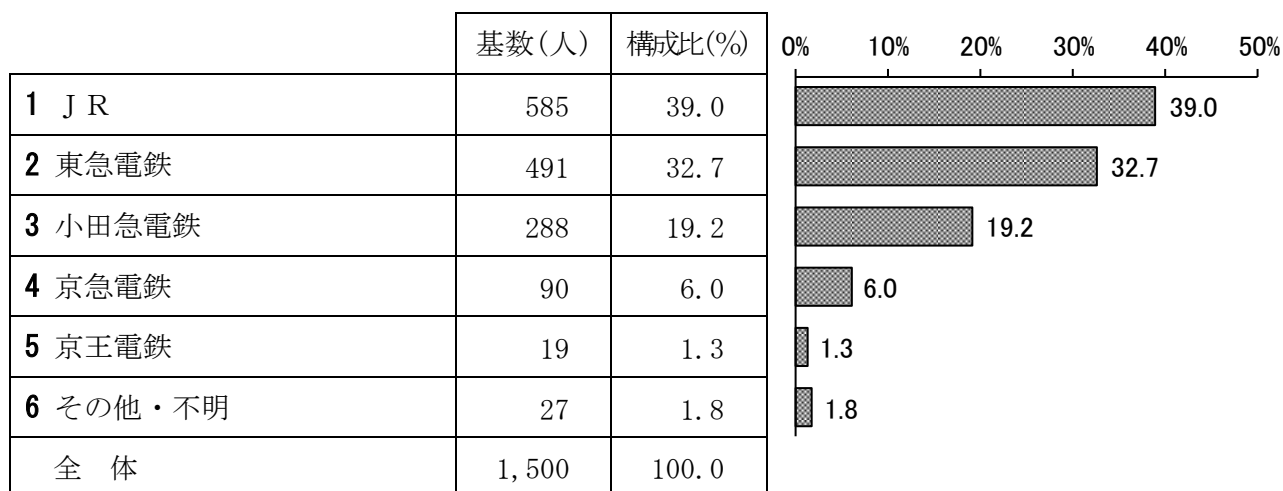


## 1.9 同居状況(複数回答)

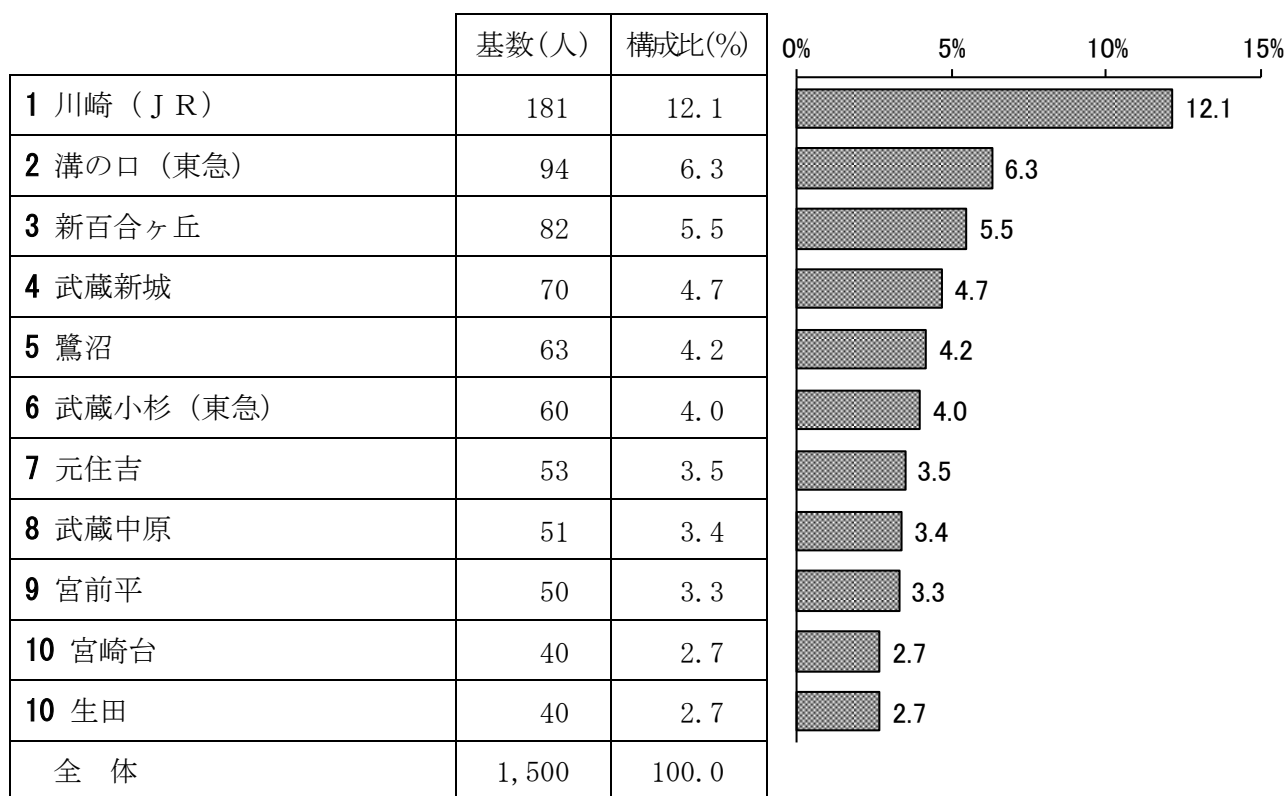
	基数(人)	構成比(%)
1 未就学児	119	10.6
2 小学生・中学生・高校生	217	19.3
3 短大生・専門学校生・大学生・大学院生	116	10.3
4 75歳以上の方	182	16.2
5 上記に当てはまるものはいない	569	50.6
全 体	1,125	-



### 1.10 最寄り駅（鉄道会社）



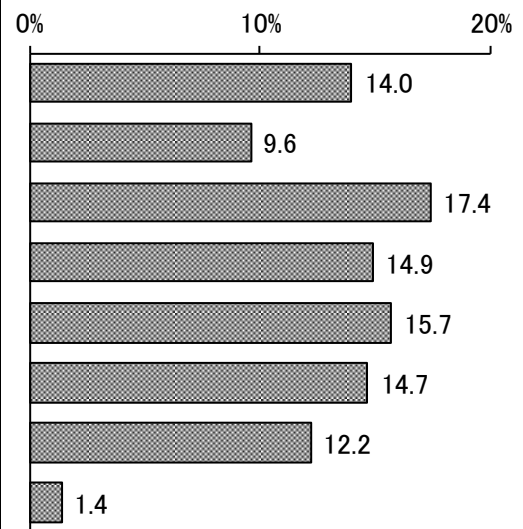
### 1.11 最寄り駅（上位10駅）



## 2 第2回アンケートの回答者

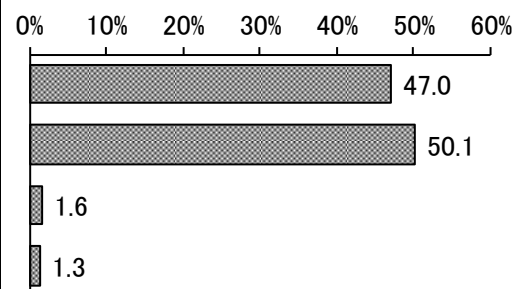
### 2.1 居住区

	基数(人)	構成比(%)
1 川崎区	223	14.0
2 幸区	153	9.6
3 中原区	277	17.4
4 高津区	237	14.9
5 宮前区	250	15.7
6 多摩区	234	14.7
7 麻生区	195	12.2
8 無回答	23	1.4
全 体	1,592	100.0



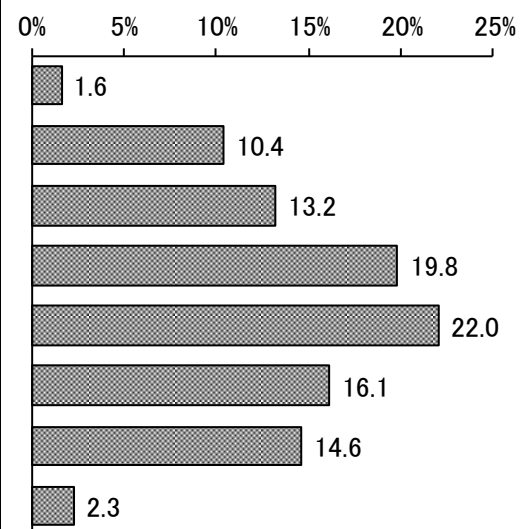
### 2.2 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	749	47.0
2 女性	798	50.1
3 選べない・答えたくない	25	1.6
4 無回答	20	1.3
全 体	1,592	100.0

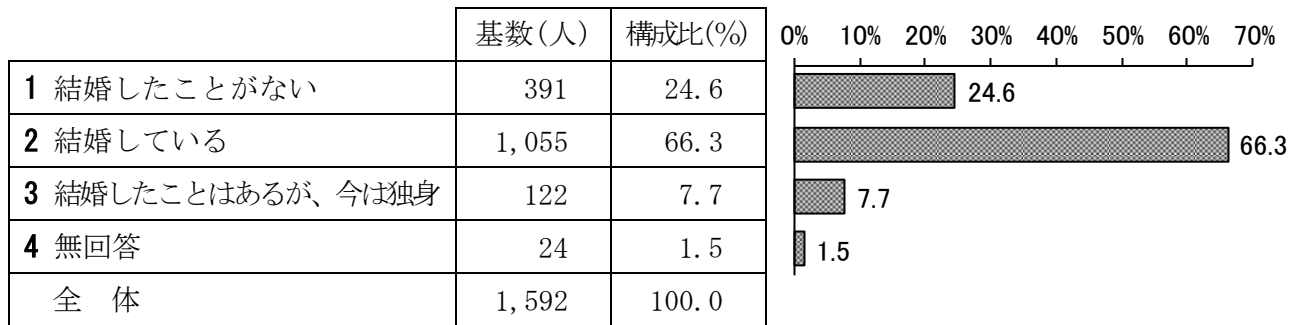


### 2.3 年齢

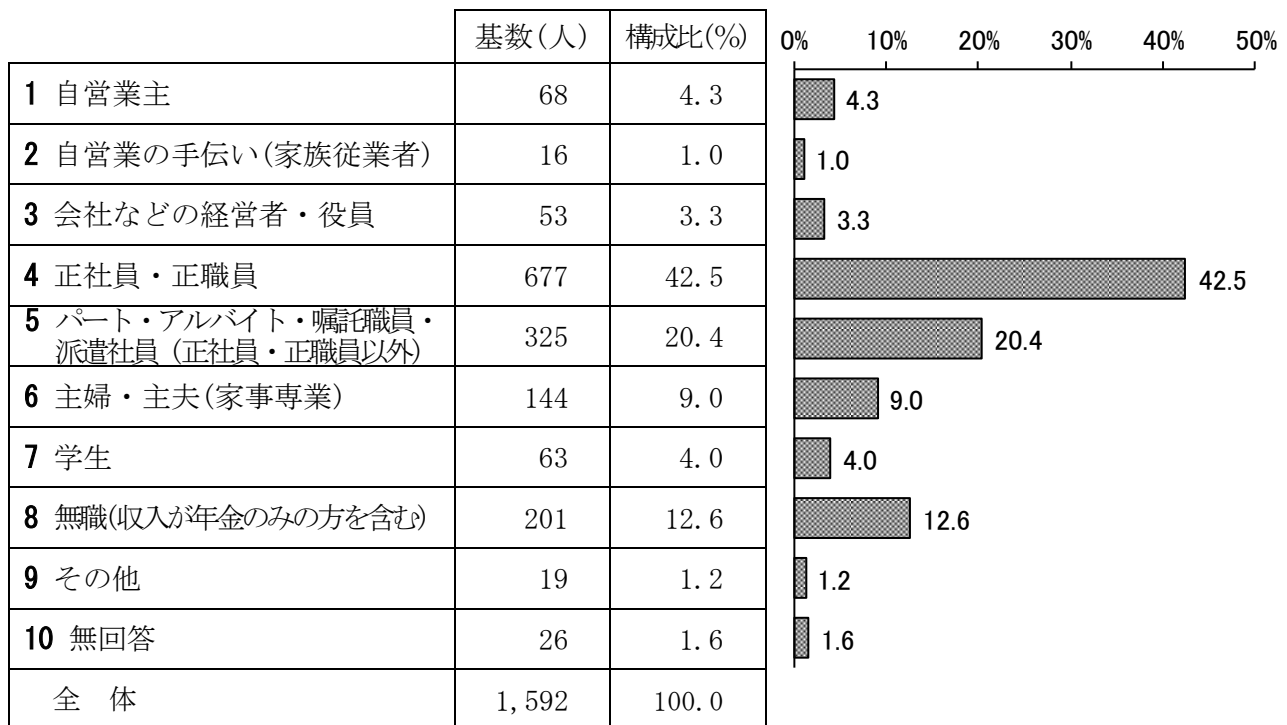
	基数(人)	構成比(%)
1 18～19 歳	25	1.6
2 20～29 歳	165	10.4
3 30～39 歳	210	13.2
4 40～49 歳	315	19.8
5 50～59 歳	351	22.0
6 60～69 歳	257	16.1
7 70 歳以上	233	14.6
8 無回答	36	2.3
全 体	1,592	100.0



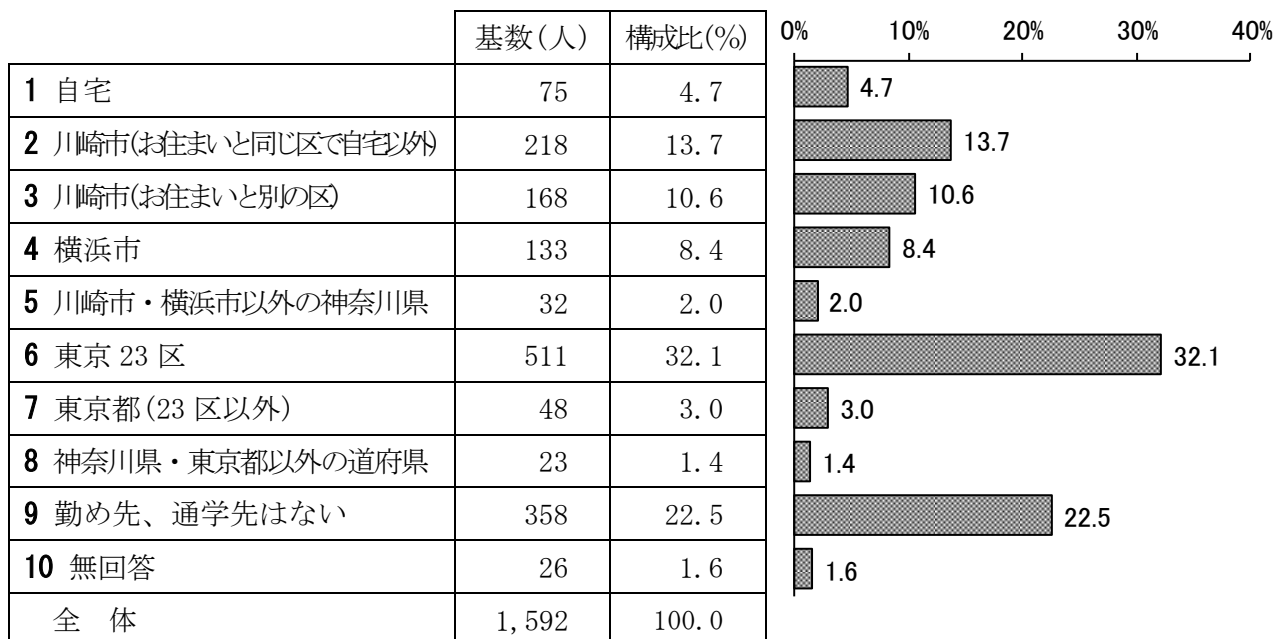
## 2.4 婚姻



## 2.5 職業

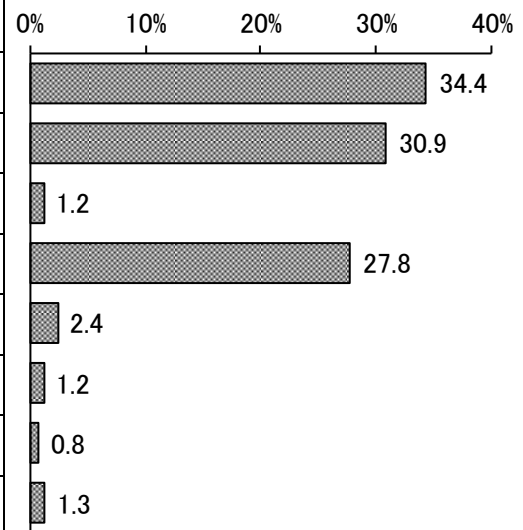


## 2.6 通勤・通学先の地域



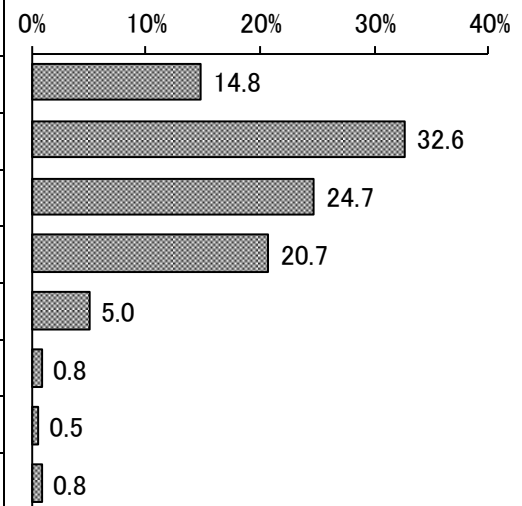
## 2.7 住居形態

	基数(人)	構成比(%)
1 持ち家(一戸建)	547	34.4
2 持ち家(マンションなどの集合住宅)	492	30.9
3 賃貸住宅(一戸建)	19	1.2
4 賃貸住宅(マンション・アパートなどの一般的な民間の集合住宅)	442	27.8
5 市営住宅や県営住宅などの公営住宅	39	2.4
6 社宅・寮・公務員住宅	19	1.2
7 その他	13	0.8
8 無回答	21	1.3
全 体	1,592	100.0



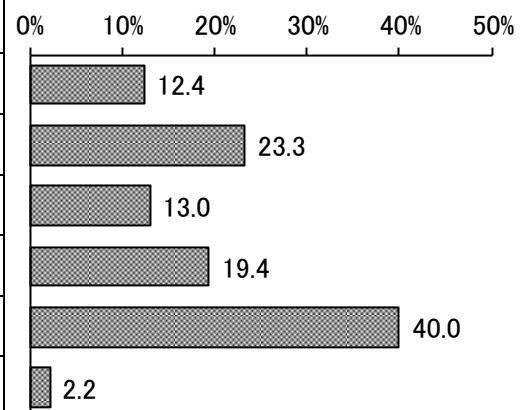
## 2.8 同居人数

	基数(人)	構成比(%)
1 1人	236	14.8
2 2人	519	32.6
3 3人	394	24.7
4 4人	330	20.7
5 5人	79	5.0
6 6人	13	0.8
7 7人以上	8	0.5
8 無回答	13	0.8
全 体	1,592	100.0



## 2.9 同居状況(複数回答)

	基数(人)	構成比(%)
1 未就学児	167	12.4
2 小学生・中学生・高校生	313	23.3
3 短大生・専門学校生・大学生・大学院生	174	13.0
4 75歳以上の方	261	19.4
5 上記に当てはまるものはいない	537	40.0
6 無回答	29	2.2
全 体	1,343	-



## 2.10 最寄り駅（鉄道会社）

	基数(人)	構成比(%)
1 JR	618	38.8
2 東急電鉄	517	32.5
3 小田急電鉄	298	18.7
4 京急電鉄	78	4.9
5 京王電鉄	28	1.8
6 その他・不明	9	0.6
7 無回答	44	2.8
全 体	1,592	100.0

## 2.11 最寄り駅（上位10駅）

	基数(人)	構成比(%)
1 川崎（JR）	181	11.4
2 新百合ヶ丘	94	5.9
3 溝の口（東急）	80	5.0
4 武蔵新城	77	4.8
5 鷺沼	68	4.3
6 武蔵小杉（東急）	59	3.7
7 宮前平	55	3.5
8 元住吉	54	3.4
9 武蔵中原	52	3.3
10 宮崎台	48	3.0
全 体	1,592	100.0

## 2.12 自宅から最寄り駅までの主な移動手段

	基数(人)	構成比(%)
1 徒歩	1,076	67.6
2 自転車	140	8.8
3 原付・バイク	19	1.2
4 路線バス	297	18.7
5 自家用車（送迎を含む）	27	1.7
6 その他の手段	6	0.4
7 無回答	27	1.7
全 体	1,592	100.0

### 2.13 自宅から最寄り駅までの所要時間（徒歩の場合）

